

地方競馬 東海・船橋・高知で連勝馬続出 フェイトアゲン号2連勝 通算3勝目 中央復帰へ

生産馬「フェイトアゲン号」牡4歳(父:マツリダゴッホ 母:タイキディーバ 名古屋角田輝也厩舎)が、2月3日(火)笠松競馬8R B5組B5 ダート1400Mと、翌週の2月11日(水)の名古屋競馬7R第3回天文賞(冬)B5 ダート1400Mに於いて2連勝を飾り、通算3勝目をあげたことから中央競馬への復帰が決まりました。



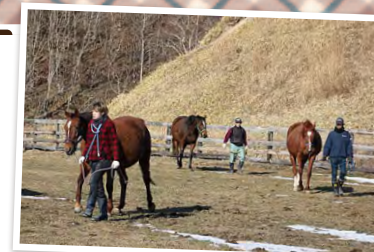
競馬中継より



レース当日の鞍上には、名古屋競馬に転厩後からコンビを組んでいる岡部誠騎手。2月3日は節分。“福は内”の声が届いたのか？レースでは“福”を招くように余裕の走りで逃げ切り勝ちの2勝目をあげ、好調を維持したまま翌週11日のレースへ参戦し、一気に連勝を目指します。距離も前走と同じくダート1400M。1番人気の重圧にも慣れ、鮮やかなピンクの勝負服で挑む岡部騎手も鞍上で余裕の表情が伺えます。スタートから無理なく先頭に立ってレースを引っ張ると、他馬に影を踏ませることなくそのままゴールへ。これからは戦う舞台を中央競馬に戻し“フェイトアゲン:もう一度祝おう”の名の通り、活躍することを祈念しています。

可愛いとわっ子が産まれました。

出産シーズンを迎え、スタッフも大忙しの時期を迎えました。出産をおよそ1か月後に控えた母馬から、運動不足解消のために曳き運動を毎日行いますが、これが意外と重労働。お腹が大きくなり、馬体重も600kgを優に超える母馬は、スタッフに曳かれて素直に歩く母馬もいれば、「わたし、歩きたくないわあ。」とばかりに立ち止まる母馬もいます。スタッフは汗をかきながら、放牧地を曳いて回ります。そんな中、2月18日深夜に今年の1番目のとわっ子が誕生しました。「タイキキララの2015号」です。父はモンテロッソ、鹿毛の可愛い女の子です。お母さんは初産でしたが、とても落ち着いていて、産まれてきた我が子を愛おしく愛撫しています。5月まで続く出産シーズンですが、皆元気に産まれてきますようにと願いながら、スタッフも日夜奮闘しています。



育成馬・生産馬の活躍

タイキエミリー号	2/18	牝4歳	高知1R	C3特別	ダート1400M
ピンクダイヤモンド号	2/17	牝5歳	笠松1R	C20・23組 C2023	ダート1400M
フェイトアゲン号	2/11	牡4歳	名古屋7R	第3回 天文賞(冬) B5	ダート1400M
スクリメージライン号	2/11	牡4歳	船橋3R	C3五 六	ダート1200M
クイックリープ号	2/10	牡10歳	高知10R	奥神賀山特別B-1選抜馬	ダート1400M
ニードサムパディ号	2/5	牡6歳	笠松7R	サラ系C4組C4	ダート1600M
ハクユウジャック号	1/30	牡4歳	川崎6R	サラ系一般C2141516	ダート1400M
トーホウチェイサー号	1/29	牡8歳	名古屋9R	ねこやなぎ特別A2	ダート1800M
クイックリープ号	1/27	牡10歳	高知10R	四十寺山特別	ダート1400M
トーホウジュリア号	1/25	牝6歳	佐賀5R	C2-35組C2	ダート1300M

関係者の皆さま、おめでとうございます！

育成馬 スクリメージライン号 2連勝 素質開眼

2月11日(水) 船橋競馬3R C3五六 ダート1200Mにて、「スクリメージライン号」牡4歳(父:ゴールドアリュール 母:タイキフェアレディ 船橋 岡林光浩厩舎)が、先月の初勝利に続いての勝利を収めました。前走の初勝利で、レースに向けて精神的にも余裕が感じられます。パドックでは、デビューからコンビを組んでいる張田昂(ハタタカシ)騎手が跨ると一段と気合も入ります。ゲートが開くと好スタートから3番手に着け追走します。残り200Mで先頭を捕らえると、張田騎手の鞭に迎えグイグイと加速し、残り100Mで勝利を確信。テレビ前のスタッフ応援隊にもゴール手前から拍手と笑顔がこぼれます。レース後の記念撮影では、岡林師と張田騎手、そのファミリーも加わり“ハイ、チーズ！”。これからの活躍が楽しみになってきた同馬への期待が益々膨らみます。



撮影 阿部典子氏

まだまだ頑張っていますよ！弊社生産1年目の産駒 10歳馬 クイックリープ号 高知で2連勝！

弊社が競走馬の生産業務に取組んだ初年度の生産馬「クイックリープ号」牡(父:サウスヴィグラス 母:リープリッヒ 高知 打越勇児厩舎)は今年で10歳を迎えました。

2013年の8歳から高知競馬に転厩以降順調に勝ち星を重ねていましたが、昨年夏に勝利を収めてから惜敗が続いていました。年が明け10歳になった同馬ですが、昨年末からの好調も維持しており、厩舎陣営も“何とかもう一花を！”と調整を続けていました。1月27日の四十寺山特別B ダート1400Mでは、往年の鬼脚を見せて復活の優勝を遂げ、続く2月10日の奥神賀山特別B-1選抜馬 ダート1400Mでは驚きの逃げ戦法。残り200Mで後続馬にクビ差を逆転されましたが、ここから10歳馬とは思えないしぶとさを発揮し、ゴール手前ハナ差で抜き返す根性を見せてくれました。“まだまだ若い馬には負けたくないぞ”とばかりに、活躍してくれることを願っています。



撮影 打越勇児師



競馬中継より

編集後記

雪原に白鳥飛来

2月に入り牧場付近の雪が無くなり、もう春がそこまで来たのかな？と感じていたら、9日から10日にかけて約30cmの積雪に見舞われ、場内は除雪作業でてんでこ舞い。辺り一面雪景色に戻ってしまいました。雪原と化した弊社お向かいの採草地に、今年も約30羽の白鳥が飛来して来ました。窓から見える羽を休める様子やV字型で群れを成し飛び立って行く姿を見ると、思わずパソコンに向かう手も止まってしまう。



撮影 F.Misako